

## 平成 19 年度 P R T R データの概要

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（以下、「化管法」という。）に基づき、平成 20 年度に県内の事業者から届出があった平成 19 年度の化学物質の排出量・移動量及び国が推計した化学物質の排出量を取りまとめましたので、お知らせします。

※ 1 この資料の本文で記載している排出量等の集計値やその割合を表す数値については、表示単位未満を四捨五入により端数処理しております。なお、端数処理のため、排出量・移動量の合計は、排出量等の各欄を縦・横方向に合計した数値と異なる場合があります。

※ 2 各年度のデータにつきましては、公表後に数値等の修正があった場合、修正後の最新版を掲載しております。そのため、各年度の公表資料の数値と異なる場合があります。

### 1 全排出量の状況

#### (1) 全排出量の集計結果

平成 19 年度の本県における化管法に基づき事業者から届出があった化学物質の排出量（届出排出量）は、9,250 トンでした。また、国が推計した平成 19 年度の本県における届出の義務のない事業者、家庭及び移動体（自動車など）からの化学物質の排出量（届出外排出量）は、12,885 トンでした。

届出排出量と届出外排出量を合計した本県の全排出量は、22,135 トンであり、平成 18 年度に比べて 1,436 トン減少しました。（図 1）

平成 19 年度の全排出量を、P R T R 制度が始まった平成 13 年度と比較すると、16,634 トン（42.9%）減少しました。

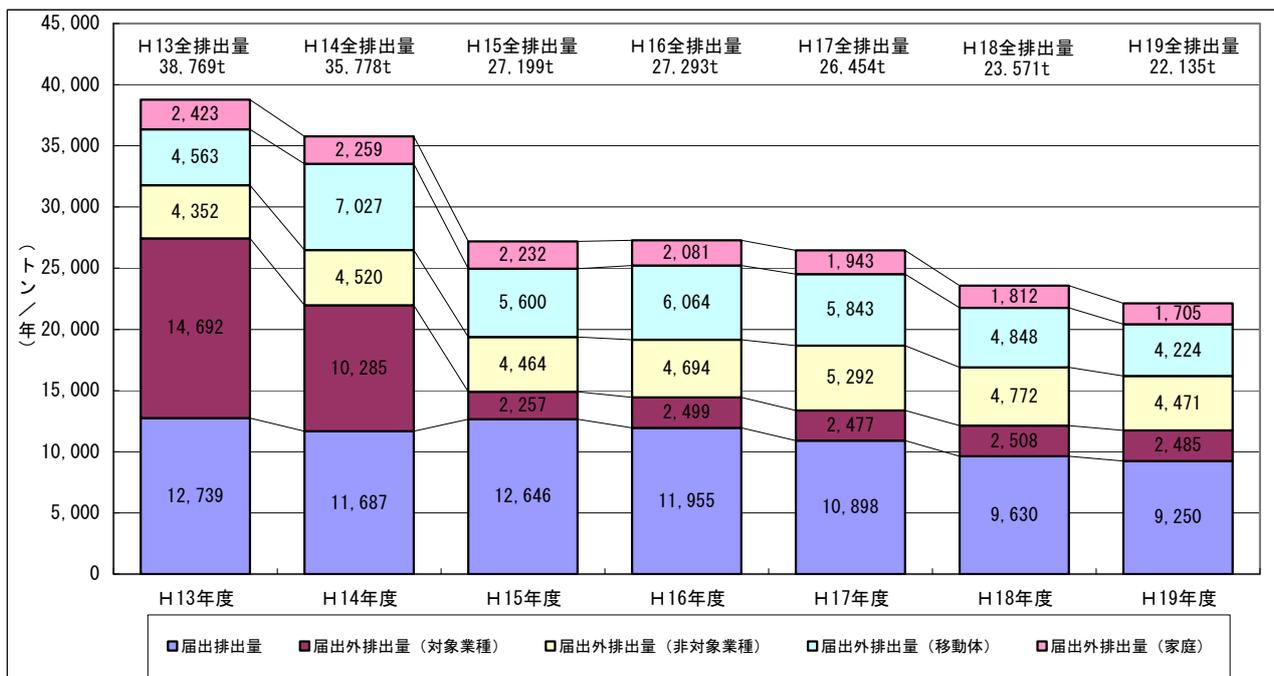


図 1 年度別・排出源別排出状況

全国と本県の排出量を比較すると、本県の排出量は、全国の排出量 526,638 トンのうちの 4.2%を占めていました。なお、本県の排出量順位は昨年と同じく全国第 5 位でした。(表 1) (都道府県別のデータは、別紙 1 を参照)

表 1 全排出量順位上位10都道府県

都道府県名	H19年度 排出量 (トン/年)	順位							
		H19	H18	H17	H16	H15	H14	H13	
愛知県	32,444	1	1	1	1	1	1	1	
東京都	25,670	2	2	2	2	2	2	2	
静岡県	25,668	3	3	3	3	3	5	5	
埼玉県	23,982	4	4	4	4	4	4	4	
神奈川県	22,135	5	5	5	6	6	6	6	
千葉県	20,702	6	7	7	8	9	9	8	
大阪府	20,307	7	6	6	5	5	3	3	
茨城県	19,646	8	8	8	9	8	8	7	
広島県	18,467	9	10	11	10	11	13	14	
兵庫県	18,093	10	9	12	12	12	7	9	

全排出量に占める排出量の割合が大きい上位 10 物質は、図 1-2 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 18,666 トンで、全排出量 22,135 トンに占める割合は 84.3%であり、上位 2 物質のトルエンとキシレンだけで全排出量の 58.1%を占めていました。

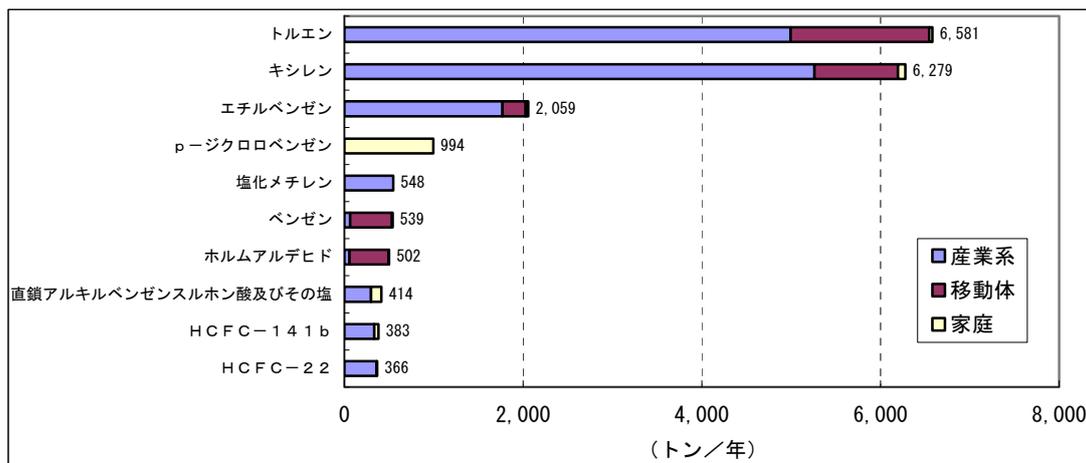


図 1-2 全排出量上位 10 物質

平成 19 年度の全排出量に占める排出量の割合が大きい上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 1-2 のとおりです。

表 1-2 全排出量上位 5 物質

物質名	排出量 (トン/年)														主な用途
	H19		H18		H17		H16		H15		H14		H13		
	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	排出量	順位	
トルエン	6,581	1	7,243	1	7,785	1	8,392	1	8,018	1	10,828	1	8,741	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
キシレン	6,279	2	6,687	2	7,668	2	7,313	2	7,199	2	8,931	2	6,753	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
エチルベンゼン	2,059	3	2,181	3	2,229	3	1,852	3	1,827	3	2,111	3	1,121	8	合成原料、溶剤等
p-ジクロロベンゼン	994	4	1,049	4	1,123	4	1,155	4	1,280	4	1,209	5	1,351	6	合成原料、防虫剤、防臭剤等
塩化メチレン	548	5	663	5	917	5	1,035	5	1,145	5	1,865	4	4,138	3	洗浄剤、溶剤等

## (2) 産業活動に伴う排出量

本県における排出源別の排出割合を見ると、産業系からの排出量と考えられる「届出排出量」、「届出外排出量のうち届出対象とならない対象業種からの排出量」及び「非対象業種からの排出量」の合計は 16,206 トンで排出量全体の 73.2%を占めており、続いて自動車などの移動体からの排出量が 19.1%、家庭からの排出量が 7.7%の順でした。(図 1-3)

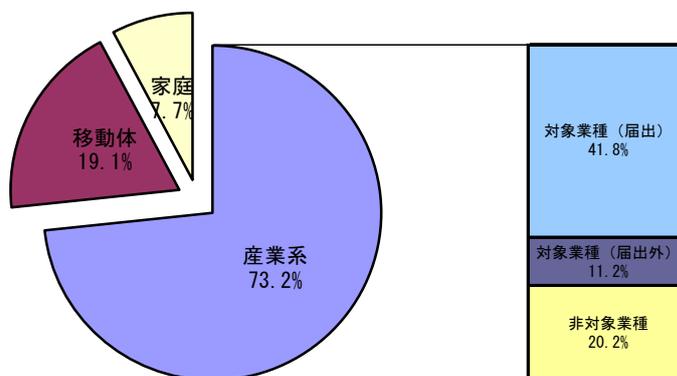


図 1-3 排出源別割合

産業系の排出量が多い上位 10 物質は、図 1-4 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は、14,216 トンで、産業系からの排出量に占める割合は 87.7%でした。

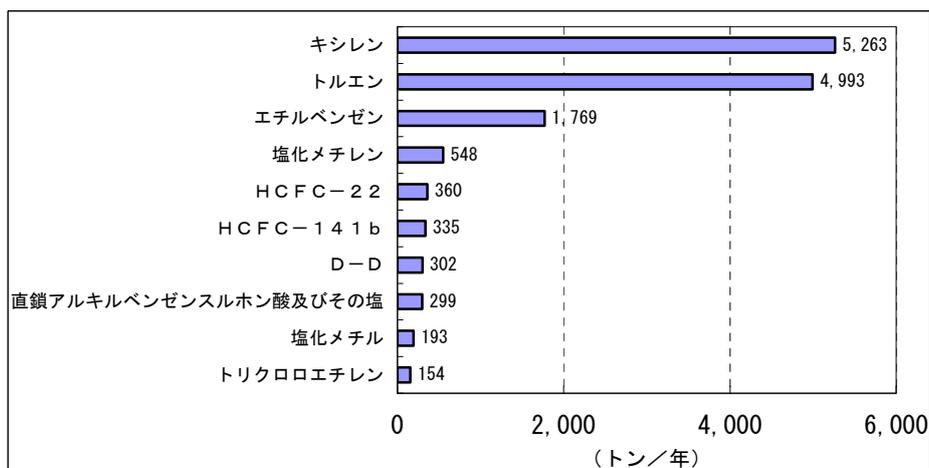


図 1-4 産業系からの排出量上位 10 物質

平成 19 年度の産業系からの排出量が多い上位 5 物質の過去 7 年間の排出量と主な用途は表 1-3 のとおりです。

表 1-3 産業系からの排出量上位 5 物質

物質名	排出量 (トン/年)										主な用途				
	H19		H18		H17		H16		H15			H14		H13	
	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量	順位	量		順位	量	順位	量
キシレン	5,263	1	5,550	1	6,289	1	5,901	2	5,965	2	7,363	2	5,819	2	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
トルエン	4,993	2	5,427	2	5,582	2	6,139	1	6,055	1	8,978	1	7,709	1	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
エチルベンゼン	1,769	3	1,838	3	1,821	3	1,433	3	1,457	3	1,719	4	822	6	合成原料、溶剤等
塩化メチレン	548	4	663	4	917	4	1,035	4	1,145	4	1,865	3	4,138	3	洗浄剤、溶剤等
H C F C - 2 2	360	5	399	5	391	7	331	7	377	6	389	8	431	11	冷媒、発泡剤、噴射剤等